

# ミュージアム県 ながさき

08 History and Culture of Nagasaki  
2019 Spring

ミュージアム県 **ながさき** 08

平成31年(2019)3月発行 ©長崎県文化振興課 〒850-8570長崎市尾上町3番1号 TEL.095-895-2762 FAX.095-829-2336 <http://nagasaki-bunkanet.jp>

## 【特集①】

### 世界文化遺産

### 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」



## 【特集②】

### 明治150年記念事業



# Information

インフォメーション



## 長崎県美術館

〒850-0862 長崎市出島町2-1  
☎ 095-833-2110  
🕒 10:00~20:00(最終入場は30分前まで)  
🏠 第2、第4日曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始  
🌐 <http://www.nagasaki-museum.jp/>  
🐦 @nagasaki\_museum



## 長崎歴史文化博物館

〒850-0007 長崎市立山1-1-1  
☎ 095-818-8366  
🕒 8:30~19:00(12~3月は、8:30~18:00)(最終入場は30分前まで)  
🏠 第3日曜日(祝日の場合は翌日) ※その他メンテナンスのため休館する場合があります  
🌐 <http://www.nmhc.jp/>  
🐦 @ngs\_rekibun 📺 @rekibun 📷 @rekibun



## 壱岐市立一支国博物館

〒811-5322 長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触515番地1  
☎ 0920-45-2731  
🕒 8:45~17:30(最終入館は30分前まで)  
🏠 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
※GWおよび夏休み期間中は無休 ※12月29日~31日休館  
🌐 <http://www.iki-haku.jp/>



## 長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

〒850-0921 長崎市松が枝町4-27  
☎ 095-827-8746  
🕒 9:00~17:00(最終入館20分前まで)  
🏠 第3日曜日(祝日の場合は翌日)  
🌐 [http://www.nmhc.jp/museum\\_hsb/](http://www.nmhc.jp/museum_hsb/)

究める・つなげる「長崎の歴史」魅力発信事業

## 長崎を学ぶウェブサイト

### 長崎県歴史・文化ポータルサイト ながさき歴史・文化ネット

長崎県内のミュージアム(美術館、博物館、動植物園、水族館など)・文化ホールを施設分類やエリア、分野で検索する事ができ、各施設の基本情報のほか、展覧会や講演会などのイベント情報も見ることが出来ます。県内ミュージアムの見学やイベントをお調べの際にご活用ください。あわせて、各施設の専門家などによるコラムや、本情報誌など読み物もたくさん掲出しています。



表紙画像: 大浦天主堂内聖母子像 ©日暮雄一/フルベッキ・中島永元ほか4名集合写真(長崎歴史文化博物館蔵)  
究める・つなげる「長崎の歴史」魅力発信事業 ミュージアム県ながさき vol.8  
©平成31年(2019)3月発行 ©企画・発行:長崎県文化観光国際部文化振興課  
©執筆:藤松綾子氏、県文化振興課(佐野実、齋藤義朗、橋本正信、百田成玉、平畑寿太郎、伊藤晴子)  
©デザイン:株式会社ピーエス・クリエイティブ

### 無料アプリ ながさきミュージアム



長崎県文化振興課の公式アプリケーション。長崎県内のミュージアムや文化施設を完全網羅し、開催中のイベント情報や施設情報を確認できます。

App StoreまたはGoogle playで

### 旅する長崎学 TABINAGA

長崎県の歴史・文化をわかりやすく楽しく学び、歴史の旅に出かけたくなるような「歴史の旅と游学サイト」。「長崎Web学会」など最新の情報を随時掲載。





## 原城跡

美しい有明海に囲まれる原城跡は、穏やかな丘陵に見え隠れする石垣等から、かつて巨大な城郭が存在していたことがうかがえます。ここは1604年(慶長9)にキリシタン大名有馬氏が完成させ(1618年(慶長23)に焼失)、1637年(寛永14)、2万数千人の領民たちが籠城し、約12万の幕府軍と対峙した壮絶な島原・天



メダイ(ザビエル像)  
(有馬キリシタン遺産記念館蔵)

繪子地着色聖体秘蹟図指物(天草四郎陣中旗)  
(天草市立天草キリシタン館蔵)

草一揆の舞台であり、この戦いは幕府を揺るがし、宣教師が潜入する恐れのあるポルトガル船の来港を禁止することになりました。本丸跡そばには総合案内所が設けられており、土日祝日には、ふるさと愛あふれる「有馬の郷(ガイド団体)」の皆さんによる解説をワンコインで聴くことができます(平日でも事前予約でガイド可)。現地では原城VRが整備されており、原城の築城当時および島原・天草一揆の様子を体感できます。

### 【駐車場】

史跡保護の観点から原城跡での一般車両の駐車は禁止されています。周辺に設けられた駐車場に駐車し、徒歩にて入城ください。また「原城温泉 真砂」(TEL 0957-85-3155)とは無料巡回バスで本丸跡そばの総合案内所と結ばれています。



原城VR 無料貸出タブレット  
荒天時は利用できません。

### ここにも注目

#### 雲仙地獄

島原半島の中心部にある雲仙温泉「雲仙地獄」では領主松倉重政によって1627年(寛永4)からキリシタンに対して熱湯による拷問が行われました。1629年からは長崎奉行がそれになりました。キリシタン殉教記念碑が建立され、殉教者の名が刻まれています。



雲仙地獄での拷問はヨーロッパにも伝えられ衝撃を与えました。

モンタヌス『日本遣使紀行』1750刊  
(長崎歴史文化博物館蔵)より

### 【ガイド施設】

#### 有馬キリシタン遺産記念館

「日野江城跡」やイエズス会が開設したセミナーヨ等のキリシタン文化の繁栄、「島原・天草一揆」について等を発掘品等とともに紹介。無料レンタサイクル有(原城本丸跡まで2.3km)。

- 〒 859-2412 南島原市南有馬町乙1395
- ☎ 0957-85-3217
- 🕒 9:00~18:00
- 🗓 木曜、12/29~1/3
- 💰 一般300円、高校生200円、小中学生150円、各種減免有

### 【ガイド】

#### 南島原ガイドの会 有馬の郷

南島原市内のキリシタンゆかりの深い地区の5団体からなる、地元の歴史に詳しいガイドの皆さん。



#### ▲土日祝日のワンコインガイド

- 原城跡総合案内所出発(約40分)
- 🕒 9:30~16:30(受付は16:00まで)
- 💰 1人500円、家族一律1,000円

#### ●予約ガイド:前日17:00までに連絡のこと。

- ①原城コース:約60分
- ②世界遺産コース:約120分  
有馬キリシタン記念資料館(入館料別)+原城跡の2コースあり。
- 👥 1~10名 2,000円、11~20名 3,000円  
21~40名(ガイド2名対応) 6,000円

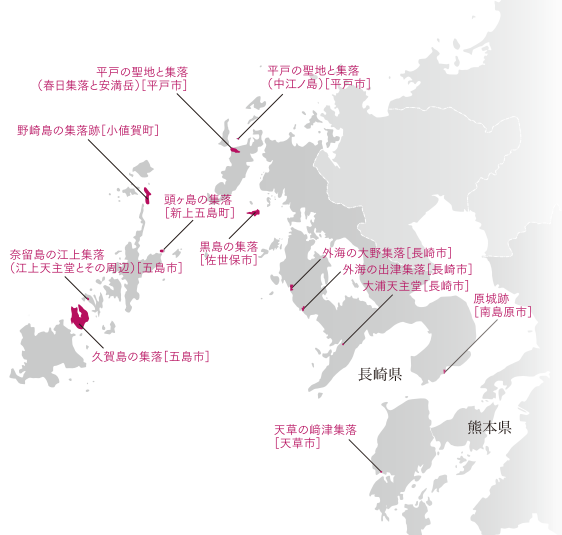
《申込・問い合わせ先: 南島原ひまわり観光協会》

TEL 0957-65-6333 (8:30~17:30、年末年始休)

<https://himawari-kankou.jp/walks/>

1549年(天文18)のザビエルの日本布教にはじまり、キリスト教に改宗した人々のことを、当時の日本ではポルトガル語由来の「キリシタン」と呼んでいました。そして、キリスト教が禁じられ、弾圧が苛烈さを極め、制度上も徹底的に取り締まりが強化されていった17世紀から19世紀の日本において、ひそかに信仰を続けようとしたキリシタンのことを「潜伏キリシタン」と呼んでいます。

## 【特集①】世界文化遺産 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」



た潜伏キリシタンの伝統のあかしとなる遺産群です。12の集落等の構成資産からなる世界文化遺産の、建造物や景観等を見学するとともに、ガイド施設等での展示やガイドの皆さんの解説を通じて、信仰の歴史や、それぞれの地の人々の営み等、より深くその価値に触れてみましょう。

0	目次
8	特集②
12	連載
13	ミュージアムの人々①
14	ミュージアムの人々②
15	ミュージアムの人々③
16	自慢の体験プログラム
17	建物探訪 福鶴・じゃがたらお春博物館
18	スペシャル・トピックス
19	スペシャル・トピックス
20	スペシャル・トピックス
21	ながさき歴史・文化トピックス

## 目次

### 0 特集① 世界文化遺産 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

#### 8 特集② 明治150年記念事業

- 連載 ミュージアムの人々① 川棚町戦時連帯ボランティアガイドの皆さん
- ミュージアムの人々② 雲仙ビードロ美術館副館長兼支配人 生駒輝彦さん
- ミュージアムの人々③ 長崎県美術館エデュケーター 守屋聡さん
- 寄稿 ミュージアム逸品紹介 親和アートギャラリー 学芸員 藤松綾子さん
- 自慢の体験プログラム 西海国立公園九十九島動物園 森きさら
- 建物探訪 福鶴・じゃがたらお春博物館
- スペシャル・トピックス 今に息づく黄檗文化と隠元禪師
- スペシャル・トピックス 梅屋庄吉生誕150周年記念イベント
- スペシャル・トピックス 長崎しまの芸術祭
- ながさき歴史・文化トピックス

斜面地にかたちづくられた集落群等からなる外海地区では、禁教期には聖画や伝道士バスチャンが伝えたキリシタン暦等を継承し、ひそかに信仰が守られました。また18世紀以降新たな生活の場を求めて五島に移住した人々のふるさとでもあります。その中の出津集落を管轄し

## 外海の出津集落 外海の大野集落



大野集落から角力灘を望む。この先に五島列島が位置します。



©清本政春

### 重要文化財 出津教会堂

【事前連絡制→P.7参照】

1882年(明治15)にド・ロ神父が建立した教会堂。2度の増築が行われ現在の姿となりました。



### 重要文化財等 旧出津救助院

外海の信仰の歴史、解禁後に信仰と生活を支えた「ド・ロさま」の功績等をボランティアガイドとシスターの皆さんが解説してくれます。また、神父の意思を継ぐ人々が栽培した小麦等の地元の食材によるランチもあります。(tabedokoro/ヴォスロール 予約制:TEL 0959-25-0018)

- 〒 851-2322 長崎市西出津町2696-1
- ☎ 0959-25-1002
- 🕒 火～土曜9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- 🗓 月曜、年末年始
- 👤 4/1より 一般400円、中高生250円、小学生200円、団体割引等有

ていた代官所等の跡には、明治期にド・ロ神父が女子養成のため設立した授産施設(旧出津救助院等)があります。中では外海の信仰と暮らしについての解説が行われています。大野集落も禁教期に信仰が継続していたことが記録され、集落には同神父が地域に伝わる石積み技術を応用して建てた大野教会堂があります。また隣接する黒崎集落には潜伏キリシタンの聖地である枯松神社等があります。外海の各集落のキリシタンゆかりの地をガイドの皆さんと一緒にめぐってみませんか。

### 【サテライト施設】

#### 長崎市外海歴史民俗資料館

外海地区のキリシタン関連資料等が展示されています。

- 〒 851-2322 長崎市西出津町2800
- ☎ 0959-25-1188
- 🕒 9:00～17:00
- 🗓 12/29～1/3
- 👤 一般300円、小中高生100円 (長崎市ド・ロ神父記念館との共通券)、団体割引有

### 【関連施設】

#### 外海潜伏キリシタン文化資料館

外海地区とその周辺の潜伏キリシタンの歴史と文化的伝統について紹介されています。

### 【ガイド】長崎巡礼センター【事前予約制→P.7参照】

#### 【ガイド付ツアー】長崎さくら(長崎国際観光コンベンション協会)

出津集落をさぐるガイドの解説でめぐれるコースあり。

《問い合わせ先》

TEL 095-811-0369



### 重要文化財 大野教会堂

【事前連絡制→P.7参照】

1893年(明治26)建設。近くの駐車場に駐車の上徒歩で敷地内にお入りください。室内への立入禁止。

- 〒 851-2326 長崎市下黒崎町5143(黒崎教会下)
- ☎ 090-2713-5259
- 🕒 9:00～16:00
- 🗓 土日祝日開館、平日は要予約
- 👤 一般(高校生以上)200(160)円、小中学生無料 ( )内10名以上の団体料金



ルネサンス期のヨーロッパ製メダイ (個人蔵)

### 【ガイド付ツアー】

#### 長崎遊覧トラベル

出津・大野・黒崎の集落をめぐれるツアーあり。

《問い合わせ先》

TEL 095-857-1211

平戸は1550年(天文19)にザビエルが布教した地です。平戸島西岸の春日集落はキリスト教に改宗した籠手田氏の領地であり、領民の一斉改宗が行われました。籠手田氏が長

## 平戸の聖地と集落 (春日集落と安満岳) 平戸の聖地と集落 (中江ノ島)



©日暮雄一

中江ノ島はキリシタン殉教の地であり、生月島の「かくれキリシタン」が今も聖水を採取しています(立入禁止)。生月島のガスバル西玄司の殉教地「黒潮の辻」からも展望できます。



©日暮雄一

春日集落の美しい棚田。あぜ道に入らず、ルールを守って散策しましょう。

崎に亡命し禁教期に入っても、「納戸神」と称されるご神体(信心具等)をまつり、共同体での信仰が続けられました。そしてキリシタンの殉教地である中江ノ島も聖地となりました。19世紀の「信徒発見」後もカトリックには復帰せず、禁教期の信仰形態が守られましたが(「かくれキリシタン」)、次第に失われていきました。二つの谷の棚田を中心とする集落は、古来神道や仏教の信仰の対象であった安満岳<sup>やすまんだけ</sup>の豊かな湧水に支えられています。古民家を改修した「春日集落案内所かたりな」では、地域の方々(語り部)とお茶をいただきながら、日々の暮らし等についてお話を聞き取ることが出来ます。



この日のお当番は寺田ウラさんと寺田ソノさん

### 【サテライト施設】

#### 春日集落案内所かたりな

古民家を改修した施設。母屋では集落の紹介や納戸神(信心具)の展示等が行われているほか、隠居部屋では集落にお住まいの皆さんとお話することが出来ます。電動アシスト自転車貸出有(1台4時間500円)。

- 〒 859-5373 平戸市春日町166-1
- ☎ 0950-22-7020
- 🕒 8:30～17:30
- 🗓 12/31～1/3

### 【ガイド】

#### NPO法人平戸観光ウエルカムガイド【事前予約制】

実施日の3日前までに申込。2時間まで1,500円+1時間につき500円(原則団体20人までガイド1人対応)

《予約申込先》

TEL 0950-23-8210(8:30～16:30)

### 【ガイダンス施設】【ガイド】

#### 平戸市生月町博物館「島の館」

平戸・生月地方の「かくれキリシタン」の信仰の歴史や文化について、お掛け絵等の数多くの資料とともに紹介されています。同館発着の「生月ボランティアガイド」による生月島を中心とするガイドツアー有。

《予約申込先:生月ボランティアガイド協会》

TEL 0950-53-3000

- 〒 859-5706 平戸市生月町南免4289-1
- ☎ 0950-53-3000
- 🕒 9:00～17:00(最終入場16:30)
- 🗓 1/1・2
- 👤 一般510円、高校生300円、小中学生200円、団体割引等有



お掛け絵「受胎告知」(個人蔵) 生月島に伝わる和様化された聖画

### 重要文化財 田平天主堂

【事前連絡制→P.7参照】

外海や黒島で潜伏キリシタンとして信仰を守っていた人々が明治以降に移住し開墾した地に建つ1918年(大正7)献堂の教会堂。鉄川與助の設計施工。

- 〒 859-4824 平戸市田平町小手田免19



©日暮雄一

## 天草の崎津集落

崎津集落の潜伏キリシタンは、表面は仏教寺院に所属し、地域の守り神である崎津諏訪神社の氏子となり、庄屋役宅(現崎津教会)で絵踏も行いました。独自に信仰を続ける中で、アワビ貝等の身近なものを信心具として代用しました。

1805年(文化2)には「天草崩れ」が起こり崎津でも村人2401人中1709人が摘発され、幕府は信仰形態を調べましたが罪に問うことはありませんでした。その後、多くがカトリックに復帰しました。静かな入江の漁港と、細い路地が入り組む街並みを残す集落には、往時の信仰形態を可視化するかのようには、神社や教会堂等が共存しています。



集落では多くの住民が生活しています。散策の際には住民のプライバシーを考慮し、ルールやマナーを守りましょう。



### 【サテライト施設】崎津資料館みなと屋

1936年(昭和11)建造の旅館を改修した資料館。崎津集落の歴史や漁村特有のキリシタン信仰等を関連資料とともに紹介。

- 〒863-1204 天草市河浦町崎津463(崎津教会そば)
- ☎ 0969-75-9911
- 🕒 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 🚶 12/30~1/1
- 🆓 入館無料

### 【サテライト施設】崎津資料館みなと屋

1934年(昭和9)にパリ外国宣教会のハルブ神父と住民の寄附により、絵踏が行われていた吉田庄屋役宅跡に建設(鉄川興助設計施工)。

- 〒863-1204 天草市河浦町崎津1117-10
- ☎ 0969-78-6000
- 🚶 12/30~1/1
- 🆓 9:00~17:30
- 🆓 入場無料

### 【ガイド】天草宝島案内人の会

崎津集落をはじめ天草各地を案内。実施日の7日前までに申込。基本料金2,000円+1時間につき1,000円。

- 《申込先》(一社)天草宝島観光協会 TEL 0969-22-2243 FAX0969-22-2390

## 黒島の集落

19世紀、平戸藩の牧場跡地再開発のための開拓民として外海等を出身地とする潜伏キリシタンが移住し、新たに6つのキリシタンの集落ができました。古くからの仏教徒の本村集落の庄屋屋敷では絵踏が行われましたが、過度に干渉しないようになり、キリシタンと共存していました。潜伏キリシタンのカトリック復帰後、1879年(明治12)にペルー神父の設計により、島の中心に初代教会堂が建てられました。

島内には公共交通機関がありません。徒歩、レンタサイクル、もしくは



©日暮雄一

### 【サテライト施設】黒島観光協会「島歩き」

ウォーキングで島内の名所をめぐる。実施日7日前までに申込。①1日コース(昼食休憩含む3時間半)、②半日コース(1時間20分)。料金は参加人数により変動。その他様々な体験プログラム有。ホームページ(<http://kuroshimakanko.com/>)では黒島の情報も満載です。

### 《問い合わせ先》黒島観光協会(→右記)

### 【サテライト施設】黒島ウェルカムハウス(NPO法人黒島観光協会)

観光案内所と直売所が一体となった施設。有料電動アシスト自転車貸出有(予約制、1台1時間300円)。

- 〒857-3271 佐世保市黒島町8-4(黒島港そば)
- ☎ 0956-56-2311
- 🕒 10:00~16:00
- 🚶 不定休

自家用車(フェリー積載必要)にて移動ください。

## 野崎島の集落跡



旧野首教会(左)と野崎島自然学習熟村(右) 画像提供:小値賀町

野崎島は、海上交通の守り神、沖ノ神嶋神社がある神道の霊地として神官の屋敷を中心とした野崎集落に限られ、一般の人々が生活することができない島でした。19世紀中頃には海外から各地を経由して潜伏キリシタンが移住し、荒地であった野首と舟森に集落がつけられました。表向きは神社の氏子となり、共同体での信仰を継続、カトリックに復帰後に各集落に教会堂が建てられました。しかし過疎化が進み2001年に最後の住民が離村しました。

野崎島は、ほぼ無人の島であり、島内は徒歩で

### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

入島者は必ずお立ち寄りください。自然や文化の保全、そして皆さんの安全の確保のため、遵守事項のお知らせ等が行われています。

- 〒857-4709 小値賀町野崎郷192
- ☎ 0959-56-2244
- 🕒 8:15~15:00
- 🆓 入場無料
- 🚶 町営船「はまゆう」の運休日(原則第1、第3日曜)

### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

旧野首教会そばの閉校した木造校舎を活用した簡易宿泊・休憩施設。

- 1人あたり日帰り1,000円(税込)、宿泊:3,500円(税込)、GW・7・8月は相部屋4,000円(税込)等

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。



### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

旧野首教会そばの閉校した木造校舎を活用した簡易宿泊・休憩施設。

- 1人あたり日帰り1,000円(税込)、宿泊:3,500円(税込)、GW・7・8月は相部屋4,000円(税込)等

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

移動します。島を訪問する前には必ず「おちかアイランドツーリズム」にご連絡下さい(事前予約制)。

## 頭ヶ島の集落

頭ヶ島には19世紀に仏教徒の開拓者の下で外海から五島に渡った潜伏キリシタンが移住しました。人が近づきにくい島を選ぶことにより、共同体を守ろうとしたのです。「信徒発見」後、神父と接触してカトリックに復帰、さらに上五島の指導者ドミンゴ松次郎が島内の白浜集落に移住し、仮の聖堂を構えました。

インフォメーションセンター(上五島空港ターミナル施設)では島内の4つの集落が紹介されています。頭ヶ島天主堂は白浜集落にある小さな教会堂です。そのため同集落への車両乗り入れが規制され、この施設を発着場とするパーク&ライド(無料シャトルバスの利用)が完全実施されています。

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。



### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

旧野首教会そばの閉校した木造校舎を活用した簡易宿泊・休憩施設。

- 1人あたり日帰り1,000円(税込)、宿泊:3,500円(税込)、GW・7・8月は相部屋4,000円(税込)等

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

旧野首教会そばの閉校した木造校舎を活用した簡易宿泊・休憩施設。

- 1人あたり日帰り1,000円(税込)、宿泊:3,500円(税込)、GW・7・8月は相部屋4,000円(税込)等

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。



### 【サテライト施設】野崎島ビジターセンター(野崎港)

旧野首教会そばの閉校した木造校舎を活用した簡易宿泊・休憩施設。

- 1人あたり日帰り1,000円(税込)、宿泊:3,500円(税込)、GW・7・8月は相部屋4,000円(税込)等

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

### 《申込先》おちかアイランドツーリズム(→右記)

野崎島の歴史や自然にふれるプチトレッキングツアー(約2時間半~3時間)。実施日7日前までに予約。一般4,000円(税込)、小学生以下2,000円(税込)、町営渡船運賃(往復1,000円)が別途必要。

## 久賀島の集落

### 奈留島の江上集落

(江上天主堂とその周辺)



旧五輪教会堂(左)

久賀島には、18世紀終わり頃に五島藩の開拓移民政策によって海外から潜伏キリシタンが移住し、仏教集落の縁辺部や隔絶した地に集落をつくりました。「信徒発見」後、

神父と接触してカトリックに復帰。1868年(明治元)、信仰を表明したため拷問が加えられ、小さな牢屋敷に約200人が詰め込まれる事件が起きました(「牢屋の窄」事件)。

て登録されています。奈留島にも海外から潜伏キリシタンが移住し、江上の地には4家族が入植しました。1906年(明治39)に初代教会堂が建てられ、1918年(大正7)、信徒のキビナゴ漁による収入を出し合い移住先の風土に合わせた江上天主堂が建設されました。

**重要文化財 旧五輪教会堂**【事前連絡制→P.7参照】初代浜脇教会堂(1881年建造)の建替えの際、1931年に五輪地区に移築されたもの。解禁後に長崎各地に建設された初期の木造教会堂の姿を残しています。

**【ガイド施設】**  
久賀島観光交流拠点センター(旧藤原邸)  
久賀島の文化的景観に関する情報発信拠点。飲食、休憩スペース有。

〒853-2171 五島市久賀町103,104  
☎ 0959-77-2115  
🕒 9:00~17:00  
🗓 月曜、12/29~1/3  
🎫 入場無料  
🍽 屋食代 1,000円~  
(3日前までに要予約)



**【サテライト施設】**  
五島観光歴史資料館

福江港そばの資料館。1562年の領主宇久純定のイエズス会士の医師派遣願いに始まる五島のキリシタン史が紹介されています。

〒853-0018 五島市池田町1-4  
☎ 0959-74-2300  
🕒 10~5月9:00~17:00、6~9月9:00~18:00  
(入館はそれぞれ30分前まで)  
🗓 12/29~1/3、その他臨時休館有。  
🎫 一般300(240)円、小中高生100(80)円  
( )は20人以上の団体料金。



**重要文化財 江上天主堂**

【事前連絡制→P.7参照】

鉄川與助設計施工。柱や窓ガラス等には、信徒の手描きによる木目や花柄の模様があります。



ここにも注目

**牢屋の窄殉教地**

6坪(20㎡程)の小さな牢屋敷に多くの子どもを含む約200人が直立のまま詰め込まれ、拷問も加えられました。8ヶ月の間に39人が牢死、出牢後にも3人が死亡しました。以降、五島列島各地でキリシタンへの弾圧が続きました。



## 大浦天主堂



上野彦馬撮影「大浦天主堂」(江崎べっ甲店蔵)建設当初の大浦天主堂。1879年に増築され現在の姿となりました。

1864年末、パリ外国宣教会が居留地の外国人のために、日本二十六聖人の殉教地の方向に向けて建設した大浦天主堂には、日本にキリシタンが存在することを期待し正面に漢字で「天主堂」の文字を記しました。そして1865年(慶応元)、ついに浦上の潜伏キリシタンが、神父の前にあらわれ信仰を告白したのです。この世界宗教史上の奇跡とも称される「信徒発見」が、潜伏が終わるきっかけとなりました。

**国宝 大浦天主堂**

【事前申し込みの必要はありません】

敷地内の旧羅典神学校等の建物を活用し「大浦天主堂キリシタン博物館」が設けられています。

〒850-0931 長崎市南山手町5-3  
☎ 095-823-2628  
🕒 8:00~18:00(受付17:30まで)  
🗓 12/31~1/2  
🎫 1,000円、中高生400円、小学生300円  
団体割引等有

## 世界文化遺産 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を見学するには?



「ながさき旅ネット」ホームページ

**①見学コースを検討する「ながさき旅ネット」**

長崎観光/旅行ポータルサイト「ながさき旅ネット」では、さまざまなモデルコースや現地ツアーを紹介しています。詳しくは、<https://www.nagasaki-tabinet.com/>を参照ください。

**②構成資産の見学をする前に...**

教会堂の見学についてはインフォメーションセンターへ必ず事前連絡を行きましょう。そして長崎巡礼センターや各地のガイド団体へ申込みを行ってみませんか。

**《教会見学時のマナー》**

教会は今も「祈りの場」として使用されています。見学マナーを守り、厳肅な雰囲気の中で、心静かに過ごしてください。

●教会内では帽子を脱ぎ、静かに拝観してください。●教会内にある物に触れないでください。●柵内、内陣(祭壇域)には入らないでください。●教会内での飲食、飲酒、喫煙は厳禁です。●教会内の写真・映像の撮影は禁止です。●教会行事(ミサや冠婚葬祭等)が行われているときは、拝観をご遠慮ください。●教会には見学者用のトイレはありません。●教会堂見学に対する感謝のお気持ちは、設置してある献金箱をお願いします。

**【事前連絡】**

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター」

潜伏キリシタンの集落に19世紀以降に建てられた教会堂は「潜伏キリシタンの伝統の終焉を象徴するものです。長崎県内には、それぞれの地域の信徒の皆さんによって133の教会堂が設けられ、「祈りの場・生活の場」として代々大切に守られています。

特に見学者が多い、構成資産の教会堂と田平天主堂については、ミサや冠婚葬祭等で見学できない場合や、一度に多くの見学者を受け入れられない場合もあるため、必ず「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター」に見学の「事前連絡(登録)」をお願いします。

**《事前連絡が必要な教会堂》**

●出津教会堂(長崎市) ●大野教会堂(長崎市) ●黒島天主堂(佐世保市)※現在耐震工事中 ●頭ヶ島天主堂(新上五島町) ●旧五輪教会堂(五島市) ●江上天主堂(五島市) ●崎津教会(熊本県天草市) ●田平天主堂(平戸市) ※旧野首教会(小値賀町)については、「おちかアイランドツーリズム」にご連絡ください(P.5参照)。



インターネットでの登録「キリシタン遺産インフォメーション」検索、入力フォームから申込ください。



出島ワーフ2Fのインフォメーションセンターでは、パネルや映像で世界文化遺産の紹介もしています。

〒850-0862  
長崎市出島町1-1-205  
(出島ワーフ2階)  
☎ 095-823-7650  
☎ 095-895-9690  
🕒 9:30~17:30



ガイドもされている事務局長の入口に志さん

**《ガイド料金》**

◎参加人数1~10人  
半日(4時間) 5,000円、  
1日(8時間) 10,000円  
◎参加人数11人以上  
半日(4時間) 1人500円×参加人数  
1日(8時間) 1人1,000円×参加人数

申込は10日前まで

**《申込先》**

NPO法人長崎巡礼センター(長崎ステーション)  
TEL 095-893-8763 FAX 095-893-8293

ここにも注目

長崎歴史文化博物館では、2005年の開館以来、東京国立博物館所蔵の重要文化財を含むキリシタン関係遺品を公開しています。2019年春から展示室を拡張して公開いたします。

## 【特集②】

# 明治150年 記念事業

2018年(平成30)は明治維新150年にあたります。これを記念し、長崎県内外で明治期の長崎についての企画展やシンポジウムなどのイベントが多数開催されました。本特集では、これらのイベントの一部を紹介し、そこで語られた明治期の長崎に関する情報のエッセンスをお届けします。



ながさき幕末維新館(上野彦馬写真館コーナー)

### ながさき幕末維新館

幕末維新期の長崎では、佐賀藩の志士たちが最先端の知識・技術・思想を学び、その力で明治維新・日本の近代化を成し遂げました。長崎における佐賀藩と「西洋」との出会いが、発点となり、現代の日本の姿があるとなれば、このころの長崎の存在は、とても大きかったと言えるかも知れません。

上野彦馬をとおして幕末維新期の長崎を見た「ながさき幕末維新館」は、こうした長崎と佐賀藩の関係を紹介する、「明治150年」を記念した「肥前さが幕末維新博覧会」(佐賀県内各所、2018年3月17日～2019年1月14日開催)に長崎県が出展したパビリオンでした。



上野彦馬先生肖像擦筆(長崎歴史文化博物館蔵)

### 上野彦馬(1838-1904)

幕末・明治初期の写真家。1838年(天保9)、長崎の銀屋町に生まれる。1862年(文久2)、写真館を開業。現像に必要な薬品を作成するなど、化学にも精通していた。写真館は成功し、伊藤博文、坂本龍馬、ロシア皇太子(のちの皇帝ニコライ2世)など多くの国内外の「偉人」を撮影した。また、人物に限らず西南戦争などの記録写真も撮っており、日本の写真家の始祖とされている。

### 明治150年記念特別展 「写真発祥地の原風景 長崎」

江戸時代、海外に開かれた窓口で

あった長崎にはオランダ船・唐船を通じて世界の様々な文物がもたらされました。写真もその一つです。安政の開港以降、ロシアやペートル、ボードイン等、数々の外国人が早い段階で、長崎を捉えた写真を残しています。加えて上野彦馬をはじめとする長崎ゆかりの日本人写真師が誕生し、写真文化の普及に寄与していきます。



画像提供  
長崎歴史文化博物館

長崎は日本における写真発祥地といえます。

本展覧会は、「写真」を軸として長崎を捉えた意欲的な展覧会であり、写真前史としての江戸時代の長崎とその特色ある文化の紹介にはじまり、外国人や上野彦馬ら日本人写真師による写真技術への取り組み、そして長崎を「写した」風景写真等、数々の貴重な写真等を通して江

戸時代から明治時代へと変わりゆく「長崎」を辿りました(長崎歴史文化博物館、2018年5月22日～6月24日開催)



「フルベッキ集合写真」(明治元年もしくは2年)(長崎歴史文化博物館蔵) ※写真中央の西洋人がフルベッキ。

### グイド・ヘルマン・フリドリッヒ・フェルベック(1830～1898)

オランダ出身で、アメリカ合衆国に移住し、日本に宣教師として派遣され活躍した法学者・神学者・宣教師。お雇い外国人として、1898年(明治31)に没するまで教育者として活躍した。彼が教鞭をとっていた佐賀藩校・致遠館の学生たちと一緒に写った集合写真(上野彦馬撮影)は、通称フルベッキ群像写真として広く知られている。

11月にはすぐ近くの出島も会場として特別展が開催され、当時の制服や庁舎の写真等が展示されました。



画像提供:長崎税関

### 長崎の幕末維新 150周年記念シンポジウム

長崎は、維新期の歴史を海外との交流という側面から彩ってきた都市です。長崎市長崎学研究所が、「ながさき幕末維新祭」の一環として開催した本シンポジウムでは「長崎の幕末維新」という共通テーマで、幕府、薩長土肥、長崎それぞれの立場での発表があり、基調講演「幕末維新期の天皇と外臣」講師 東京大学名誉教授 藤田寛氏」をはじめ幕末維新史の研究者が多数参加し、活発な議論



藤田氏による基調講演 画像提供:長崎市

### 明治維新150年記念事業 佐賀藩のすがた展 【後期:親類同格展】

幕末維新期、佐賀藩は「薩長土肥」の一角(肥前)として大きな役割を果たしました。

佐賀藩は、龍造寺家からその重臣である鍋島家に支配が移行されてから成立しました。こうした状況下で鍋島家は、諫早家等、龍造寺家に連なる有力な四家を優遇し、「親類同格」の資格を与えました。この四家はそれぞれ独自の行政機構を持ち、幕末までその独立性を維持しました。本企画展では、こうした佐賀藩の藩構成が幕末維新期の勇躍につながる多様性の母体であったことが紹介されました(主催:佐賀市、会場:佐賀市歴史民俗館 旧佐賀銀行、20

### 長崎税関 明治150年特別展

長崎税関では一般の方々に広く税関の役割を知っていただくため、長崎税関本館1階に資料展示室が設けられています。

2018年には特別展として、4

### 横山貞秀(1833～1890)

1833年(天保4年)生まれ。長崎出身。生家は医者。のちに阿蘭陀通詞(今の通訳)を努める横山家の養子となる。幕末期から医学伝習所の通訳や済美館の英語教師などをつとめるなど、語学力を活かして活躍した。維新以降は外国営事役所に配属された。1868年(明治初)に租税寮七等出仕として長崎に在勤、1874年から長崎県権参事を兼務、その後初代長崎税関長となった。



横山貞秀肖像写真(長崎歴史文化博物館蔵)

18年8月11日(2019年1月14日開催)。



画像提供: 諫早市美術・歴史館

### 日本遺産関連 ツアー・クルーズ

佐世保市では、「明治150年」を記念する関連イベントの一つとして、市内の日本遺産「鎮守府」の構成資産をめぐるツアーを、内閣府の「明治150年ポータルサイト」  
(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/index.html>)に登録しています。ツアーは「日本遺産を巡る『海軍さんの散歩道』徒歩ツアー」「[SASEBO]軍港クルーズ」「[SASEBO]クルーズバス 海風」の三種類です(詳しくは <https://www.sasebo99.com/s/>)。



クルーズバス 海風



画像提供:(公財)佐世保観光コンベンション協会

### 大村市郷土史講演会

大村市では、「明治150年」を記念して、まず、平成29年度郷土史講演会にて、幕末の大村藩の動きと藩士の活躍、その評価に迫る試みとして講演会「明治150年 高杉新作と渡辺昇」「講師・萩博物館特別学芸員「坂太郎氏」が2018年2月17日に開催されました。

また平成30年度郷土史講演会(11月24日)では、「明治維新における宗教と民衆生活」と題して、明治維新期に起きたキリスト教解禁や神仏分離などに着目し、その歴史的意義について考える講演会(維新の夜明け前、ギリシタンの復活の謎解き試論「講師・長崎純心大学客員教授 宮崎賢太郎氏」および「神仏の訣別と日本史上より消えた28日間」講師・富松神社宮司、大村史談会会長 久田松和則氏)が開催されました。



平成29年度郷土史講演会 画像提供: 大村市

### 渡辺昇(1838~1913)

1838年(天保9)、現在の大村市に生まれる。政治家にして剣術家。江戸の神道無念流剣術道場・練兵館に入門、のちに塾頭を務めた。坂本龍馬の依頼により、薩長同盟成立のため長州藩への働きかけなどに尽力した。明治政府では大阪府知事、会計検査院長などを歴任した。また近代剣道の発展に尽力し、最初の剣道範士号を授与された。1913年(大正2)、病没。



渡辺昇肖像写真 (大村市立史料館蔵)

### 長崎歴史文化博物館

#### 特集展示

#### 「潜伏キリシタンと明治維新」

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録と「明治150年」を記念し、長崎歴史文化博物館にて特集展示「潜伏キリシタンと明治維新」が開催されました(6月30日~9月2日)。



本展覧会では、禁教下の潜伏キリシタンの歴史について、幕末維新の頃を中心に、長崎で起きた「信徒発見」と「浦上四番崩れ」、各藩への流配(「旅」とその後の信徒たちの浦上帰住について、主に館蔵の文献資料に基づいて解説しました。



画像提供: 長崎歴史文化博物館

### 梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念企画展 「映画界の風雲児 梅屋庄吉」

梅屋庄吉は、長崎出身の実業家です。梅屋については、孫文の革命活動を支援していたことで広く知られていますが、彼が映画会社「Mパテール商會」を立ち上げ日本映画界の先駆者となり、更に「日活」の前身である「日本活動写真株式会社」の創立に関わ

### 梅屋庄吉(1868~1934)

1868年(明治元)生まれ。日本活動写真株式会社(現・日活)の創業者の一人として著名な実業家。清末民初期の中国の革命家・孫文と固い友情を結び、その活動を物心両面で支援し続けた長崎を代表する国際人でもある。

1895年ごろ、香港で写真館(梅屋照相館)を営む日々の中で孫文と出会ったとされる。1905年ごろ帰国し、映画業で成功。そこで得た莫大な利益を孫文の活動に捧げた。

悪化していく日中関係を嘆き、1934年(昭和9)、時の外相・広田弘毅に改善を求めに赴く途上、急死した。



写真「梅屋庄吉」1908年(明治41)撮影(小坂乃氏蔵)

るなど、映画界で活躍していたことについては、これまで十分に語られて来ませんでした。本企画展では、梅屋が映画人として果たした役割を明らかにし、彼が映画を用いた報道や教育による社会貢献を志していたことを紹介しました(長崎歴史文化博物館、10月6日~11月25日開催、頁21も参照ください)。



雲仙ビードロ美術館

## 雲仙ビードロ美術館

副館長・支配人

生駒輝彦さん

第3回 長崎県学芸功労者賞(展示部門)受賞



# ミュージアムの人々 その2

## “来てよかった”という お客様の声が原動力



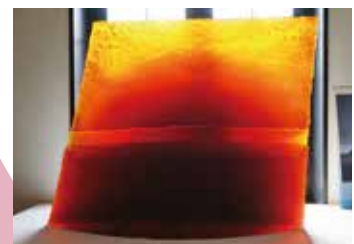
世界中から収集したガラス

周囲を大自然に囲まれた雲仙温泉街、その一角に雲仙ビードロ美術館があります。美しいビードロ・ギヤマンの輝きに魅かれて多くの観光客が訪れる人気スポットとなっています。館は民間により設置・運営されており、江戸時代の吹きガラスをはじめとして、世界中から収集されたアンティーク・ガラス、現代作家による先鋭的な作品まで見ることができる日本でも珍しい美術館です。施設は美術館、ガラス体験工房、ミュージアムショップから構成されていますが、これら全てを取り仕切っているのが副館長兼支配人の生駒輝彦さんです。

生駒さんは小学校教員として長年図工教育にあたられ、教育委員会勤務等を経て校長として退職後、以前から関りの深かったこの館に就かれました。その後、現在

に至るまで経営全般、常設展・企画展の企画・運営・展示など館の全ての業務に携わっておられます。特に美術品に対する見目の厳しさは長年の美術品蒐集を通じて養われたもので、ご自分で購入することで自ずとその審美眼が養われていったといえます。その豊富なご経験と培われた人脈がこの館の運営に生かされていることは言うまでもありません。

今でこそ館の評価・知名度は全国的にも確立されていますが、ここに至るまでには並々ならぬ苦勞があったそうです。公的な補助など一切なく入館料だけで館の運営を切り盛りするには、大変な経営努力を必要とします。それゆえ年に数回開催される企画展においても、予算ゼロで実施せざるを得ず、必ずしも満足いくものにはなっていないと仰っています。しかし、このような厳しい状況ではありながら、理解



スタニスラフ・リベンスキー作「ホライゾン(地平線)」

のあるオーナー、献身的なスタッフなど多くの人々の協力と支援によって支えられている雲仙ビードロ美術館を誇りに思うと生駒さんは語ります。

雲仙温泉街は豊かな自然・温泉と宿・文化芸術の三位一体が大きな魅力ですが、この点において雲仙ビードロ美術館の存在意義は民間であるけれど公的な使命を帯びており、だからこそ博物館相当施設としての品位とクオリティは維持し続けなければならないと生駒さんは強調されています。企画展に象徴される予算ゼロと内容の充実、この相反する要素を両立させているのはひとえに生駒さんの知識・経験そして芸術にかける情熱に他なりません。“来てよかった”というお客様の声が生駒さんの原動力です。



それ自身が芸術品ともいえる展示室

- 〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320
- ☎ 0957-73-3133
- HP <https://unzenvidro.weebly.com/>
- 🕒 9:00~18:00
- 📅 年中無休
- 👤 大人700円、中高生500円、小学生300円、幼児は無料



片島魚雷発射試験場跡(川棚魚雷遠距離発射場跡)

# ミュージアムの人々 その1

## 川棚町戦時遺構 ボランティアガイド



川棚町戦時遺構ボランティアガイドのみなさん(一部)

## 多くのかたに町内の 遺構を知ってもらいたい

いま、新聞やテレビ、そしてインターネット上でも注目を集めている地域の軍事遺構を案内する人たちがいます。それが川棚町戦時遺構ボランティアガイドのみなさんです。

大村湾北岸に位置する川棚町には、日本海軍に関する遺構が点在しています。

いま、ガイドのみなさんが案内しているのは、片島魚雷発射試験場跡(三越郷、片島公園)、川棚魚雷艇訓練所跡近くの特攻殉国の碑・資料館(新谷郷)や川棚町役場近くにある郷土資料館(中組郷)など。

遺構はこれまで地元の住民有志によって語り継がれてきましたが、平成28年度の町教育委員会での講座開催をきっかけに29年度からガイド養成が始まり、平成30年度、本格的にガイドとしての活動を開始しました。

メンバーは個人の集まりで、構成員は、設立当初8人、現在は7名の少数精鋭で、ガイドを希望する旅行者や地元小学生の案内をしています。参加率は100パーセント。よくありがちな名前だけのメンバーなんて1人もいません。

平成30年度、町内の戦時遺構を案内したのは13件で、合計400人以上にのぼります。内訳は川棚町内の小中学校3件、県内3件、ほか東京都・京都府・滋賀県など遠方からの団体もありました(平成31年2月1日現在)。

平成30年10月には初めて県外からの小学生修学旅行団体(福岡県)を迎えました。このときの経験は、「100人規模のガイドを受け入れることができ、今後の励みになった」そうです。

ガイドのみなさんが現在テーマとして取り組んでいるのは「小学生にもわかるガイド」。ほかにも川棚以外の地域との関係も含めた広い視野での解説をしたいという課題を持っているようで、「多くのかたに町内の遺構を知っていただく機会をつくりたい」という希望をもって活動に臨んでいます。

案内のレベルを上げるための勉強会も月に1~2回のペースで開催しています。

町の産業振興課商工観光係によれば、将来的にはさらなる組織化と有償化による自立したガイド団体の設立を目標とのこと。

活動が本格化してさっそく成果も挙げている川棚町戦時遺構ボランティアガイドのみなさん。今後の活躍が期待される存在です。



初めて小学生修学旅行団体を案内



勉強会のようす

- 〒859-3614 東彼杵郡川棚町中組郷1518-1
- 川棚町役場 産業振興課 商工観光係
- ☎ 0956-82-5414



# ミュージアムの人々

## その3

誰もやったことのない  
尖った企画を!



長崎県美術館  
事業企画グループ チーフエディケーター  
守屋聡さん  
第3回 長崎県学芸功労者賞(普及部門)受賞

昨年度、第3回長崎県学芸功労者賞を受賞された守屋聡さんは、熊本県天草市(旧・本渡市)で生まれ、学生時代を長崎で送りました。そこで今も師と仰ぐ井川惺亮氏(長崎大学名誉教授)と出会い、その薫陶を受けられました。長崎県美術館には2012年度(平成24)より勤務されており、学校対象のプログラムや一般向けの生涯教育などの教育普及活動のほか各種展覧会関連企画、さらには館主催のワークショップやイベントの企画・運営まで業務は多岐にわたり、まさに八面六臂のご活躍をされています。

守屋さんが今回の学芸功労者



釜山市立美術館でのワークショップ



PLANET BAR エントランスロビーがダンスフロアに

色水風船ペインティング

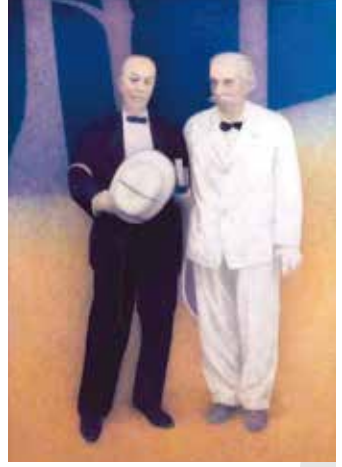
たと感じるときだそうです。お客様の笑顔と素直に喜んで楽しんでいる姿を見るのが何より嬉しいと笑顔で語っていただきました。最後にこれからの活動についてお聞きしたところ、スクールプログラムなどのルーティンワークを一つの大きな柱としながら、もう一つの柱としてまだ誰もやったことのないような尖った企画で攻めていきたいと熱く語っておられました。その言葉を象徴するようなイベントが、2018年(平成30)11月9日~11日に「NEW HELLO! 秋のファンタスティックミュージアム」と題して開催され、たくさんの刺激的な催しが繰り広げられ、多くの人々を魅了しました。また国際都市長崎に根差したスペイン・ポルトガル・オランダなど各国との交流をテーマにした企画を県民に紹介してみたいという、国際派の守屋さんらしい展望も語っていただきました。これからも長崎県美術館は様々な企画で私たちを楽しませてくれそうです。

※長崎県美術館の基本情報については、裏表紙をご参照ください。

# ミュージアム逸品紹介

## 親和アートギャラリー

学芸員  
藤松綾子さん



島内きみ「北村徳太郎翁とシニバイツァー博士」  
油彩画・P100号(制作年不詳)  
※島内きみ作品については調査しましたが現時点では著作権者不明

親和銀行のコレクションは、戦後に、優れた美術品の国内外への散逸を危惧したことに端を発します。

戦後の混乱期から高度成長期へと変遷する時代の中、長崎県下3ヶ所に地域の子どものための「子どもガーデン」の開設、幕末の儒学者楠本端山旧宅現、長崎県指定史跡(の保存、長崎県内の史実などをまとめた「親和文庫」の刊行などを行っています。美術品のコレクションは、こうした文化的な見地による様々な地域貢献活動の「環」であったことが窺い知れます。

代表する画家島内きみの油彩画「北村徳太郎翁とシニバイツァー博士」です。野に咲く草花や風景を好んで描いた島内には珍しい肖像画の大作は、親和銀行二代頭取(後に会長)北村徳太郎とノーベル平和賞を受賞したことで知られるアルベルト・シュバイツァー博士を描いたものです。

佐賀市で生まれた島内きみ(1916~2012)は、10代から40代までを佐世保で過ごしています。1938年には文展初出品・初入選の快挙を果たします。その後、国画会を中心に発表を行い、フランス留学後に拠点を東京、横浜へと移しました。

北村の秘書が書いた随筆(※1)や北村の書簡(※2)には、銀行行事などと共に、北村や四代頭取の坂田重保が佐世保の画家を励まし支援する様子

や、北村が1961年11月に赤道直下のガボン共和国にシニバイツァー博士を訪問した時のことが記されています。その中には島内作品と同じ構図のスナップ写真も確認できます。

2点目は、昭和の洋画壇で活躍した朝比奈文雄の油彩画「オランダ万才」です。長崎くんちの演し物としても人気の高い阿蘭陀万歳は画題としても好まれ、当館は複数の画家による作品を所蔵しています。その中で朝比奈作品は最も大きく、仔細に描かれた南蛮屏風を背にした万才と才三が明快な筆運びでユーモラスに描かれています。

東京都で生まれた朝比奈文雄(1914~1992)は小糸源太郎に師事し、1949年には日展特選、光風会展に出品した作品で岡田賞を受賞します。日展や光風会展を中心に発表し、欧州や国内各地の風景画を数多く残しています。

東京出身の朝比奈と銀行との接点は、朝比奈に師事していた佐世保市在住の女性が、当時の頭取坂田に紹介したことから生まれたと言われています。

今回ご紹介した2作品(※3)からは同時代に生きた二人の画家と、銀行の礎を築いた頭取たちによる支援が形成したコレクションの一端を垣間見ることができ、ます。(敬称略)



朝比奈文雄「オランダ万才」  
油彩画・F120号(制作年不詳)

〒857-0806 佐世保市島瀬町4-24  
親和銀行島瀬ビル1F  
TEL 0956-23-4856  
https://www.shinwabank.co.jp/aboutus/artgallery/  
平日(火曜日から土曜日) 10:00~16:00(入館は15:30まで)  
日・月・祝日(土曜日が祝日の場合は開館) 年末年始12/31~1/3  
無料

# 自慢の体験プログラム

人にも動植物にも  
優しい動物園に。

## 西海国立公園 九十九島動物植物園 森きらら

佐世保市中心部から車で約15分、風光明媚な西海国立公園内に「森きらら」があります。1961(昭和36)年の開園以来、佐世保市民はもとより長崎県民からも石岳動物植物園として長く親しまれてきました。2011年の



ツキノワグマは園の人気ものだ

を機に「森きらら」という現在の愛称が公募により決まりました。現在、ここで飼育されている動物は66種、植物は1200種におよび、年間の入園者数は毎年20万人を超え、私たちの憩いと学びの場として定着しています。

近年、園では体験プログラムにも力を入れており、「ペンギンたちの大冒険」「対州馬の乗馬体験」「キリンのもぐもぐガイド」など、土日祝日を中心に子どもたちがワクワクするような各種体験が用意され、人気を博しています。2018年の秋からは「グマさんのごはん探し」という新プログラムも用意され、犬の21倍、人間の2100倍ほどの嗅覚を持つと言われているクマが展示場内に隠さ



体験プログラム  
ペンギンたちの大冒険  
体験プログラム  
キリンのもぐもぐガイド

れたドライブフルーツやリンゴなどを採す様子を観察しながら飼育員がその驚くべき嗅覚や生態を説明する、楽しみながら学べる好企画です。今後は、最近各地の動物園で導入されているハズバンダリートレーニングを採用し、動物たちにとってストレスの少ない飼育方法を追求するとともに、これをお客様向けのイベントとしてアレンジしていく新しい取り組みにも挑戦していくという事です。飼育員の方の「動物たちにもここで気持ちよく生活してほしい」という優しい言葉に、園のこれから目指す方向が表れていました。「森きらら」は人にも動植物にも優しい市民に寄り添う園として、これからはますます愛されていくことでしょう。



体験プログラム  
対州馬の乗馬体験



花いっぱい、緑いっぱい!



- 〒857-1231 長崎県佐世保市船越町2172番地
- ☎ 0956-28-0011
- HP <https://www.morikirara.jp/>
- 🕒 9:00~17:15(入園は16:45まで)
- ※動物の体調管理のため、16:30(12~2月は16:00)より観舎への収容を開始いたします。
- 📅 年中無休
- 👤 大人(高校生以上)820(660)円  
小人(4歳~中学生)210(170)円  
※( )内は15名以上の団体料金。  
その他、佐世保市民割引等有。
- 🆓 無料

# 建物探訪

## 日本本土 最西端の酒蔵

### 福鶴・じゃがたらお春博物館



福田酒造は、1688年(元禄元)、平戸藩の御用酒屋として、初代・福田長治兵衛門が志々伎で酒造りを始めた創業330年となる酒蔵です。志々伎は平戸島の南西端に位置しており、福田酒造は日本本土最西端の酒蔵として、日本酒「長崎美人大吟醸」や「福鶴純米吟醸酒」、麦焼酎「かびたん」、じゃが芋焼酎「じゃがたらお春」などを製造しています。

博物館は、1996年(平成8)、開館しました。ここでは伝統の継承、伝統の酒造りの一部始終を多くの方にふれていただき、その酒造りの世界を通じて、日本の心を広く深く伝えることを目的としています。土蔵を模した館内の1階部分では、昔の酒造りの様子を再現し、酒造りの道具類とともに、お酒ができる工程を展示しています。第14代蔵主・福田

詮さんによると「昔はこの場所から船で酒を配達していました」とのこと。2階展示室では、330年の歴史を誇る酒蔵の歴史や、近現代に至る酒造器具類、宝物として代々伝わる、平戸藩主が同地滞在の折に用いた布団、漆器などのほか、酒蔵経営で用いられた江戸時代の道具類も展示されています。

酒造りの創意工夫や古くから伝わる殺菌方法に、酒造りの精神を感じることができそうです。また、2階の一角には、平戸市前津一吉町出身で、東亜同文書院第一期卒業生、満州鉄道調査課に所属し、「満州旧慣調査報告書蒙地」などを編纂のち満州国土地局顧問も務めた亀淵龍長(1880-1976)を紹介したコーナーも設けられています。



- 〒859-5533 平戸市志々伎町1475
- ☎ 0950-27-1111(福田酒造株)
- ✉ jagatara@vega.ocn.ne.jp
- HP <http://fukuda-shuzo.com>
- 🕒 9:00~15:00(要連絡)
- 📅 元旦
- 👤 大人のみ300円
- 🆓 無料



焼酎づくりを再現したコーナー



日本酒づくりを再現したコーナー



ポर्टレース場で使われていた銅製の酒煙器



江戸時代に使われていたそろばんなど



亀淵龍長を紹介したコーナー

# 梅屋庄吉 生誕150周年記念イベント

長崎生まれの実業家で、近代中国の革命指導者・孫文の支援者であった梅屋庄吉(1869-1934)の生誕150周年を記念し、県内外でさまざまな事業が行われました。



梅屋庄吉展開会式

長崎歴史文化博物館では「映画界の風雲児 梅屋庄吉」展(2018年10月6日～11月25日)を開催し、日本映画草創期に活躍した映画人としての側面に注目した展示を行いました。世界と日本の行く末を見据え、様々な挑戦をした梅屋庄吉の情熱は、生涯にわたる孫文の革命活動に対する支援にもつながりました。



小学生の部受賞者

中学生の部受賞者

また、5年目となる「長崎の偉人 梅屋庄吉」読書感想文コンクールでは、日中平和友好条約締結40周年を記念し、中華人民共和国駐長崎総領事賞も新設され、応募総数133作品(小学生の部22作品、中学生の部111作品)の中から、小学生の部8名、中学生の部10名が受賞となりました。

さらに、「第30回孫中山宋慶齡記念地連席会議」(2018年11月28日、神戸市)にも参加し、早速、長崎市立伊王島中学校2年 森山美怜さんと長崎市立橋小学校5年 草加陽菜乃さんによる左記の今年度の読書感想文コンクール最優秀作品2作品を紹介しました。

この連席地会議では、中国、マレーシア、シンガポール、アメリカ、日本等の国や地域の32の記念館から63名の代表が参加し、特別ゲスト14名や神戸中華同文学校と市民の来場もあり、盛況を博しました。神戸市は、孫文が1924年11月28日に「大アジア主義」の講演を行った記念の地であり、同地において、本県の孫文ゆかりの文化施設を紹介することができ、国内外に広くアピールできた大変意義ある機会となりました。

あわせて、特別展「日本の孫文・宋慶齡ゆかりのミュージアム展」(同年11月1日～12月2日、孫文記念館(移情閣))も開催され、宋慶齡が梅屋庄吉の娘に宛てた手紙等が展示されました。また、同展開催を記念して開催されたパネルディスカッション「日本の孫文ゆかりのミュージアム紹介」では、長崎歴史文化博物館とその分館である長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアムの活動について、同館の水嶋英治館長が報告しました。



第30回孫文宋慶齡記念地連席会議

# 今に息づく 黄檗文化と隠元禅師

～日中平和友好条約締結40周年記念～

## 第5回世界仏教フォーラム

2018年10月に中国福建省莆田市において、「第5回世界仏教フォーラム」が開催され、世界55か国から名僧、研究者、俳優、政府関係者等1,000人が招待されました。このフォーラムは3年に1度開催される国家イベントであり、福建省では初の開催となり、隠元禅師「初登宝地」である長崎興福寺の松尾法道住職や本県も初めて招待されました。

開幕式の挨拶において尤権中央統戦部長は、隠元禅師に触れ、フォーラムでも再び隠元禅師が海外へ仏教や文化を広めた功績を讃えました。また、日中韓分科会において、松尾住職が「今に息



第5回世界仏教フォーラム日中韓分科会における松尾ご住職のご発表

づく黄檗文化と隠元禅師」を発表し、隠元禅師東渡(来日)に果たした長崎の役割や近年の日中黄檗文化交流事業についての報告がなされました。

司会は、大塚伸夫 大正大学学長と黄夏年 中国社会科学院世界宗教研究所『世界宗教文化』編集長が行い、このことから、中国においても仏教をめぐる日中間の歴史や文化が注目されていることが窺えます。

## 隠元禅師ゆかりの黄檗寺院の交流等

2018年6月8日から8日間、隠元禅師ゆかりの廈門虎溪岩寺の浄心住職を団長とする黄檗文化交流団44名が本県を訪れ、興福寺で隠元禅師を顕彰するイベントが行われ、県内の黄檗寺院の視察



香港中国旅游出版社より『印象長崎』が中村知事に贈呈された

や交流も行われました。

次年度からは、隠元禅師が中国廈門を出発した日と、長崎への登岸日を記念日として、相互に交流事業を行い、隠元禅師ゆかりの黄檗寺院間の友好交流締結も行われる予定です。



廈門虎溪岩寺 黄檗文化交流団の長崎訪問

## 黄檗文化に関連する番組制作等

本県と友好県省の福建省との連携により、隠元禅師の足跡と黄檗文化に焦点を当て、日中各地で撮影が行われ、「我们的朋友圈(私たちの友達の輪)～長崎編」と題し、2月7日から5回、中国のニュース番組(福建省テレビ局)で放送されました。また、中国での隠元禅師を主人公とするドラマの脚本制作への協力を行うとともに、ノーベル文学賞受賞作家カズオ・イシグロ氏原作の「浮世の画家」(NHK制作ドラマ)の長崎の黄檗寺院でのロケ誘致が実現しました。

さらに、2018年11月には、北京・香港・マカオ・台湾・シンガポールの著名なカメラマン20名が撮影した、本県が誇る美しい自然や、日常生活、黄檗文化等、長崎をテーマとして編集された写真集『印象長崎』が香港の書店30店舗で発売開始されました。



福建省テレビ局の取材を受ける元長崎市立博物館館長 原田博二氏

## 「世界の記憶 朝鮮通信使」展開催

江戸時代の異文化交流の象徴の一つである「朝鮮通信使」。その朝鮮通信使に関する記録が2017年(平成29)10月31日にユネスコ「世界の記憶」に登録され、1周年を迎えたことを記念して、特集展示「世界の記憶－朝鮮通信使－」が長崎歴史文化博物館特集展示室にて開催されました。開会初日の2019年(平成31)1月23日には、孫鍾植 駐福岡大韓民国総領事、宋義政 釜山博物館長、松原一征 NPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長をはじめとする関係者の皆様をお迎えし、開会式を行いました。登録資料である《馬上才図巻》(松原一征氏蔵)等、国内外の関連資料が多数展示され、往時の文化交流の様子を偲ぶ展示となりました。



画像提供:ともに長崎歴史文化博物館

## 雲仙岳災害記念館「がまだすドーム」リニューアル

1990年(平成2)に始まる雲仙普賢岳の噴火の教訓を後世に伝え、火山についての正しい理解が、将来の災害で人命を救うことに繋がることを願い設立された雲仙岳災害記念館「がまだすドーム」が2018年(平成30)4月にリニューアルしました。「平成大噴火シアター」では4KのCG画像が導入され、太古の海の噴火により生まれた島原半島の成り立ちが紹介されています。そして、1990年に始まる一連の普賢岳噴火がプロジェクションマッピングで表現されています。また雲仙岳周辺をドローンで撮影した「雲仙岳スカイウォーク」では上空からの映像を、まるで空中散歩を

するような感覚で見ることができます。火山や防災を幅広く学べる体験プログラムも充実し、火山のワークショップエリア「ワンダーラボ」、島原半島ジオパークにちなんだ、雲仙・普賢岳に見立てた体験アトラクションが楽しめる屋内遊具スペース「こどもジオパーク」が新設されました。



画像提供:すべて雲仙岳災害記念館

[がまだすドーム](#) [検索](#)



所 〒855-0879 島原市平成町1-1  
 電 0957-65-5555  
 時 9:00～18:00(入館は17:00まで)  
 休 年中無休  
 料 大人 1,000円、中高生 700円  
 小学生 500円 ※各種割引あり

## スペイン修好150年シンポジウム「天正遣欧少年使節と大村」開催

初のキリシタン大名 大村純忠、そして日本のキリシタン文化の繁栄をヨーロッパにおいて知らしめた天正遣欧少年使節の功績を伝えることにより、大村文化の先進性を広く紹介する事業として、2018年(平成30)11月25日、大村市にてスペイン修好150年大村歴史シンポジウム&スペシャルコンサート「天正遣欧少年使節と大村」が開催されました(主催:大村純忠revivalぶるじょくと、助成:平成30年度大村市市民いきいき助成金)。

学校法人上智学院前理事長 高祖敏明氏、『純忠 日本で最初にキリシタン大名になった男』(2018)等を発表されている作家の清涼院流水氏、新長崎学研究会代表 稲富裕和氏による講演や鼎談が行われ、様々な視座での大村純忠像、そして天正遣欧

少年使節派遣の意義等が熱く語られました。そして往時の少年たちのヨーロッパ文化との邂逅を体験するかのような永田斉子氏によるルネサンス期の古楽器リユートの演奏も行われました。



画像提供:ともに大村純忠revivalプロジェクト



## 長崎しまの芸術祭

長崎県は、全国の都道府県の中で有人島の数が最も多く、それぞれの「しま」には豊かな自然や独自の歴史・文化があります。本県では、2018(平成30)年度から3か年計画で文化芸術を通じて、魅力あふれる「しま」の振興を図るために、東京藝術大学や地元大学などと連携し、五島列島・壱岐・対馬において「長崎しまの芸術祭」を開催しています。

この取組は、文化芸術による地域づくりや人材育成のため、音楽やアートなど様々な文化芸術に触れ、親しむ機会を創出するとともに、多くの人々が「しま」を訪れ、楽しみ、賑わうことを目的として実施するもので、3か年で「しま」全体で12,700人の交流人口の拡大を目指しています。

2019年度のイベントの一例を挙げると、五島列島では、東京藝術大学講師陣や県内指導者による吹奏楽セミナー及び合唱セミナーを行い、最後にセミナー受講生による成果発表と、東京藝術大学講師陣による演奏会を開催します。また、ホルン愛好家のための青い海を眺めながら、美しい音色を楽しむミュージック・キャンプを行うことになっており、こちらも最後に成果発表のコンサートを開催します。

また壱岐では、海外アーティストが地元の素材を使って創作した作品の展示会を開催することになっております。対馬では、対馬市民向けのクラシックギター講座や県外のギター愛好家を対象とした合宿を開催するなど、ギターによる文化交流を行います。

「長崎しまの芸術祭」では、通年を通して各地域で多彩なイベントを開催しますので、ぜひこの機会に長崎県の「しま」へお越しください。



～たくさんの人に音楽を届けよう～ 五島ウインドオーケストラ演奏会(五島市)



晩 LA NUIT DES TEMPS(壱岐市)



対馬クラシックギター講座(対馬市)